

12. 臨床医の立場からみた、地域における小児歯科 医療機能充実の必要性について

○松本 晉一、太田 良生（人吉市・開業）

演者は、先に本学会第1回九州地方会で、地域のG Pとしての立場から、小児の歯科診療上の問題点と、その充足課題についての呈示を試みました。今回は、その中でも包括歯科診療の可能な、地域医療体制の整備に関連した問題について考察を加えてみました。

最近、地方の歯科医療状況の特徴として、新卒臨床医数の増加、専門医療機関の偏在、診断技術、患者管理技術の進歩への対応不足、対象患者の広域化、症例の多様化、医療情報の過多などの地域特有の因子の増加がみられます。従って、我々臨床医は、これらの因子から派生する当該地域の処理能力を超える範囲の症例、疾患について苦慮することが多くなってきています。

今回は特に、開業医単独では対応の困難な小児歯科の問題について、実際の臨床例及び担当する地域の状況をふまえて、小児歯科医療機能充実の必要性について、背景と展望をまじえて考察し、報告させていただきます。